令和２年度
市貝町奨学生募集のお知らせ

～経済的理由により修学できない方を対象に学資を貸与します～

○貸与額について

（１）高等学校または高等専門学校月額 10,000 円

（２）大学、短期大学または各種専門学校月額 20,000 円

○応募期間　令和２年１月 15 日（水）～令和２年３月６日（金）

☆出願資格は?

→町内に居住し、高校や大学などの学校に在学する方が対象です。

（ただし、学力状況や世帯収入による要件があります。）

☆給付型?それとも貸与型?

→本奨学金は貸与型です。（返還にかかる利子はありません）

☆申込みはどうすればいいの?

→期間内に願書や学校の推薦書などを事務局へ提出します。

申込み書類は役場こども未来課、市貝中学校などに置いてあるほか、町のホームページからもダウンロード出来ます。

【問い合わせ先】
市貝町教育委員会事務局
こども未来課　学校教育係　学校管理担当
TEL　０２８５－６８－１１１９

令和２年度

市貝町奨学生募集要項

この奨学金は、教育の機会の均等を図るため、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学ができない方に学資を貸与して、人材を育成することを目的としています。

１．出願資格について

次の条件を満たす学生又は生徒が対象となります。

（１）本町に居住する者で、学校教育法に定める次の学校等のいずれかに在学し、又は入学しようとする者。ただし、在学することにより一時的に本町に居住しなくなる場合は、本町に居住する者とみなす。
- ア　大学、短期大学
- イ　専修学校（修業年限２年以上の専門課程）、福祉医療・看護教育を行う各種学校（高卒者に限る）
- ウ　高等専門学校
- エ　高等学校、中等教育学校（後期課程）

（２）学術優秀、品行方正及び身体強健な学生生徒であって資金がなく就学困難な者。
- ア　出身校又は在学校において、最終学年の学習成績評定平均値が５段階評価で概ね３．０以上である者

※　高等学校、高等専門学校、中等教育学校（後期課程）に在学し、又は入学しようとする方は、下記（２）イの条件のみを満たせば対象となります。

※　単位制の場合は、履修した科目等の総合評価（評定）が概ね６割以上である者とします。

- イ　本人の属する世帯で、父母又はこれに代わって家計を支えている者の平成３０年中の認定所得金額[注①]が、別表１[注②]の基準額以下である者。

２．貸与額について

奨学金は、年４回に分けて３ヶ月分をまとめて貸与します。

（１）高等学校、中等教育学校（後期課程）又は高等専門学校　　月額１０，０００円 以内

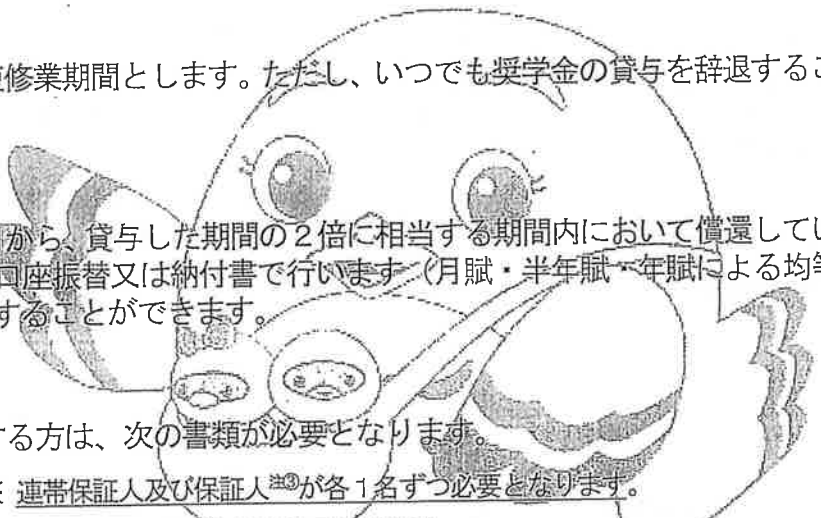
（２）大学、短期大学又は各種専門学校　　月額２０，０００円 以内

３．貸与期間について

入学又は在学する学校の正規の最短修業期間とします。ただし、いつでも奨学金の貸与を辞退することができます。

４．償還（返還）方法について

学校卒業後１年を経過した年の翌月から、貸与した期間の２倍に相当する期間内において償還していただきます（無利子）。償還の方法は、口座振替又は納付書で行います（月賦・半年賦・年賦による均等払い）。また、いつでも繰り上げて償還することができます。



５．出願の手続について

（１）提出書類　　奨学生を希望する方は、次の書類が必要となります。

① **奨学金貸与願書　１部**　※ 連帯保証人及び保証人[注③]が各１名ずつ必要となります。

② **奨学生推薦書　１部**　※ 出身学校長又は在学学校長の推薦書です。

③ **平成３１年（令和元年）中の収入・所得額がわかるもの　１部**

（給与所得者の場合は源泉徴収票の写し、その他の場合は確定申告書（控）の写し、住民税申告書の写し 等）

※③については、次の例にしたがって書類をご提出下さい。

ア）両親がいる世帯の場合 → 父と母２人の書類　　イ）母子又は父子世帯の場合 → 母又は父の分の書類

ウ）父母に代わる人が家計を支えている世帯の場合　→　その人（家計支持者）の分の書類

④ **完納証明書　１部**　※連帯保証人及び保証人が町外者である場合のみ。

⑤ **誓約書・奨学金借用証書　各１部**　※連帯保証人及び保証人の記名押印が必要です。

⑥ **奨学金振込先報告書　１部**

※⑤⑥の書類は、奨学生として採用された際に必要となります。不採用となった場合は郵送にて返却させていただきますので、御了承ください。

⑦　その他、教育委員会が必要と認める書類

（２）応募期間　　令和２年１月１５日（水）　～　令和２年３月６日（金）
※ただし、土日・祝日を除く。

（３）提 出 先　　市貝町教育委員会事務局（こども未来課学校教育係）　市貝町役場２階
TEL　０２８５－６８－１１１９　FAX　０２８５－６８－１１７２

（４）提出期限　　令和２年３月６日（金）必 着
※期限を過ぎた場合は、受け付けることができませんのでご注意ください。

６　奨学生の募集人数・選考方法について

（１）募集人数　全体で若干名
（２）選考方法　提出のあった書類の審査後、市貝町奨学金運営委員会で選考を行い決定します。

７　奨学生の決定について

選考結果については、事務局より本人宛てに通知いたします。その後、令和２年４月分より貸与が開始されます。

８　そ の 他

申込書類は、市貝町教育委員会、市貝中学校、芳賀郡市及び宇都宮市内の各高等学校等などに置いてあります。また、市貝町役場ホームページからも申込書類の様式をダウンロードできます。詳しくは、市貝町役場ホームページをご覧ください。　(http://www.town.ichikai.tochigi.jp/forms/top/top.aspx)

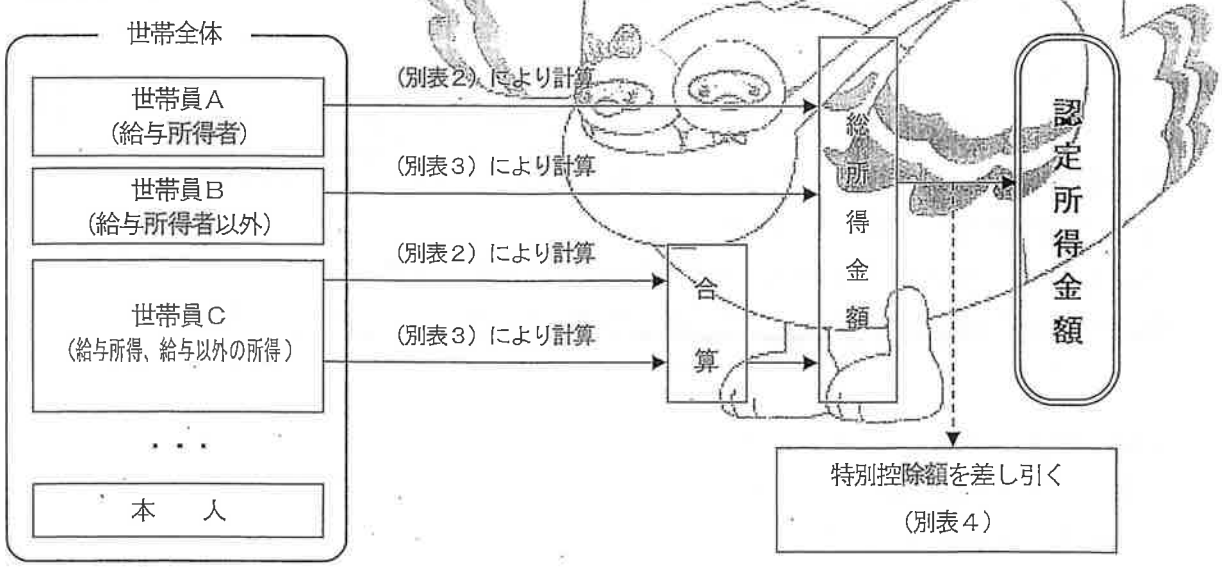
（注①）認定所得金額とは

認定所得金額とは、父母又はこれに代わって家計を支えている人の総所得金額（別表２及び３により求めた所得額）から、特別控除額（別表４）を差し引いた金額です。

認定所得金額　＝　総所得金額（別表２及び別表３により求めた所得額）－ 特別控除額（別表４）

※　収入及び所得は、１万円未満を切り捨てて計算します。
※　認定所得金額の算出は、主たる家計支持者（主に誰の所得により家計を賄っているか）の金額を対象とします。家計支持者が複数人いる場合は、それぞれの収入について別表２又は３により算出した所得額を合算し、総所得金額とします。
※　給与収入と給与以外の収入がある場合は、それぞれ別表２及び３により算出した所得額を合算し、その人の所得額とします。

【認定所得金額の算出イメージ】



（注②）別表１　基準額表

世帯人員	基　準　額
１人	１，３９０，０００円
２人	１，９８０，０００円
３人	２，１２０，０００円
４人	２，２９０，０００円
５人	２，３９０，０００円
６人	２，５００，０００円
７人	２，６２０，０００円
７人を超える場合	人員が１人増すごとに１２０，０００円を、世帯人員７人の基準額（２，６２０，０００円）に加算

（別表２）給与所得計算式

家計を支えている人が給与所得者の場合は、次により算出します。

年間収入金額（万円未満切捨）	所　得　額（万円未満切捨）
２６７万円以下	０円
２６８万円以上　４００万円以下	年間収入金額×０．８－２１４万円
４０１万円以上　７８１万円以下	年間収入金額×０．７－１７４万円
７８２万円以上	年間収入金額－４０８万円

（別表３）給与所得以外（事業所得、公的年金等）の計算式

家計を支えている人が給与所得者以外の場合は、収入金額からその収入を得るためにかかった必要経費（売上原価、営業経費等）や所定の控除額を差し引き、その人の所得額とします。

所得額　＝　収入金額　－　必要経費（売上原価、営業経費等）や所定の控除額

（別表４）特別控除額表

控　除　の　事　由	特　別　控　除　額			
① 母子・父子世帯				９９万円
② 就学者のいる世帯 （児童・生徒・学生１人につき） ただし、出願者本人は含めず、⑦を適用する。	区　分		自宅通学	自宅外通学
	小学校			３１万円
	中学校			４６万円
	高等学校	国公立	３９万円	６９万円
		私　立	８８万円	１１８万円
	高等専門学校 国公立	1～3年次	３９万円	６９万円
		4～5年次	４３万円	７２万円
	高等専門学校 私　立	1～3年次	８８万円	１１８万円
		4～5年次	８７万円	１１６万円
	大　学	国公立	７４万円	１２１万円
		私　立	１３３万円	１８０万円
	専修学校 高等課程	国公立	３９万円	６９万円
		私　立	８８万円	１１８万円
	専修学校 専門課程	国公立	３６万円	８１万円
		私　立	１０２万円	１４７万円
③ 障害者のいる世帯	障害者１人につき			９９万円
④ 長期療養者のいる世帯	療養のため経済的に特別な支出をしている年間金額。			
⑤ 主たる家計支持者が別居している世帯	別居のため特別に支出している年間金額（上限額７１万円）。			
⑥ 災害・風水害・盗難等の被害を受けた世帯	日常生活を営むために必要な資材あるいは生活費を得るための基本的な生産手段（田・畑・店舗など）に被害があって、将来長期にわたり支出増又は収入減になると認められる年間金額。			
⑦ 出願者本人を対象とする控除				７４万円

※　控除の事由に２つ以上該当するときは、その特別控除額の合計額を控除できます。
※　出願者本人の控除については⑦を適用し、②には含めません。
※　③及び④に該当し、障害者手帳の交付を受けている場合は、障害者手帳のコピー（名前と級がわかる部分）を添付してください。また、④～⑥に該当する場合、その金額の根拠となる書類（医療費の支払いなど）を添付してください。添付のないときは控除適用外になる場合があります。

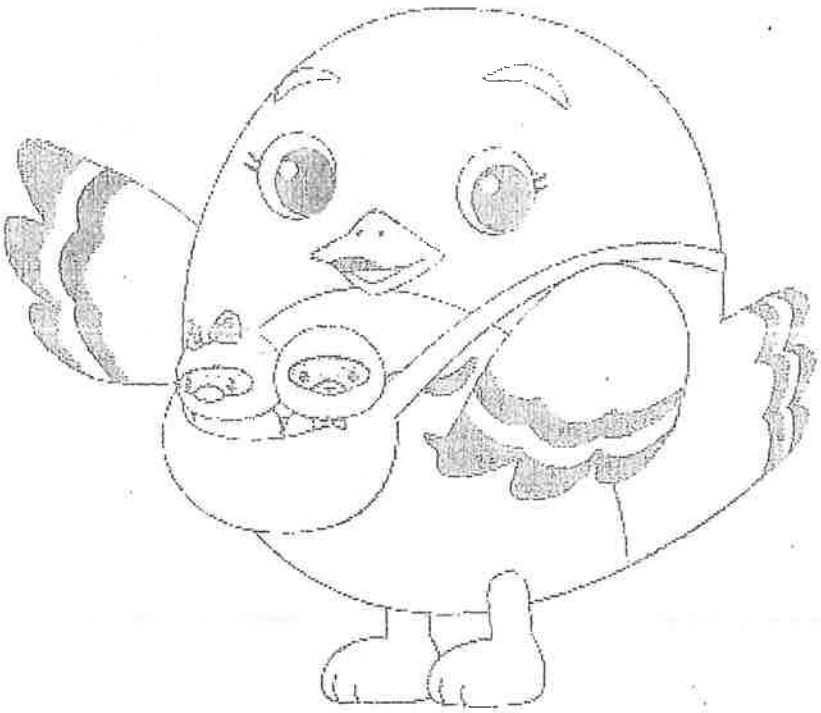
（注③）連帯保証人及び保証人について

連帯保証人とは、奨学生本人と連帯して奨学金償還（返還）の責任を負う者であり、原則として「**父母のいずれか又は兄姉**」とします。また、保証人とは、本人及び連帯保証人が返還できなくなったときに、本人に代わって返還する者であり、原則として「**おじ・おば・兄弟姉妹等の親族**」とします。

連帯保証人及び保証人については、原則として下記の要件に該当する人を選任していただくこととなります。なお、該当する人がいない場合等要件に関する疑義がある場合は、期限までに市貝町教育委員会事務局へご相談ください。

【連帯保証人・保証人の要件】

連帯保証人	保証人
・出願者が未成年の場合は、その親権者（親権者がいない場合は未成年後見人）であること。 ・出願者が成年者の場合は、その父母。父母がいない等の場合は、出願者本人の兄弟姉妹、おじ、おば等の４親等以内の親族であること。 ・独立の生計を営む者であること。 ・市町村民税等を完納していること。 ・未成年及び学生、並びに出願者本人の配偶者（婚約者含む）でないこと。 ・債務整理中（破産など）でないこと。 ・その他、弁済の資力を有すると認められること。	・本人及び連帯保証人と別生計であること。 ・出願者の父母を除く、おじ、おば、兄弟姉妹等の４親等以内の親族であること。 ・出願時点における年齢が６５歳未満であること。奨学生として決定を受けた後、保証人を変更する場合は、その届出日時点で６５歳未満であること。 ・市町村民税等を完納していること。 ・未成年及び学生、並びに出願者本人・連帯保証人の配偶者（婚約者含む）でないこと。 ・債務整理中（破産など）でないこと。 ・その他、弁済の資力を有すると認められること。



様式第1号(第4条関係)

奨　学　金　貸　与　願　書

ふりがな 氏　名	男 女	生年月日	平成　　年　　月　　日生
住　所	〒 電話番号（自宅・携帯）		
貸与希望金額	月　額　　円	貸与希望期間	年　月　日より 年　月　日まで
在学又は入学見込の学校名	学校名 所在地		在学・入学見込

連帯保証人	・氏　名 ・本　籍 ・住　所 ・電話番号	・生年月日　　年　月　日 ・続　柄 ・職　業 ・年間収入　　万円
保証人	・氏　名 ・本　籍 ・住　所 ・電話番号	・生年月日　　年　月　日 ・続　柄 ・職　業 ・年間収入　　万円

家族状況

就学者を除く家族	続柄	氏　名	年齢	勤務先及び電話番号	職　業	本人との同・別居
			歳	電話番号		同　居 別　居
			歳	電話番号		同　居 別　居
			歳	電話番号		同　居 別　居
			歳	電話番号		同　居 別　居

本人を除く就学者	続柄	氏　名	年齢	設置者別	学　校　名	学　年	通学別
			歳	国・公・私		年	自　宅 自宅外
			歳	国・公・私		年	自　宅 自宅外
			歳	国・公・私		年	自　宅 自宅外

特別控除関係	種　別	本人との続柄	程　度	長期療養期間
	心身障害（　　人） 長期療養（　　人）		級	平成　　年　　月から長期療養（病名：　　） 過去１年間にその療養のため実際に支払った医療費（保険等で補てんされた金額を除く。）　　年間　　万円

奨学金貸与状況						
他の奨学金との併願	有・無	奨学金名称			貸与月額	円
	実施機関名		併願状況	1．出願中　2．今後出願予定　3．その他		
以前に当町奨学生であった者	・学校名 ・貸与期間　　年　　月より　　年　　月まで ・貸与月額　　円　・貸与総額　　円					

奨学金出願理由	
出願者の履歴（※小学校入学以来の履歴を記載）	

市貝町奨学金貸与条例により奨学生としてご採用のうえ、奨学金の貸与を受けたく、関係書類を添え連帯保証人及び保証人連署をもってお願いいたします。

なお、奨学生の選考審査のため、出願者、連帯保証人、保証人、出願者の父母又はこれに代わって家計を支えている者に関する市町村税の納付状況等について、調査することを同意いたします。

年　　月　　日

出　願　者　　印

連帯保証人　　印

保　証　人　　印

市貝町教育委員会　様

様式第2号（第4条関係）

奨　学　生　推　薦　書

出願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1　学力の状況

科目 学年													学力平均
第　　学年													
第　　学年													

科目 学年													学力平均
第　　学年													
第　　学年													

2　修学支援状況

高等学校等就学支援金	有　・　無
高校生等奨学給付金	有　・　無
奨学のための給付金（ 公立・私立 ）	有　・　無
その他、授業料減免又は就学支援を目的とした制度等	有（名称：　　）　・　無

上記の者は、学術優秀、品行方正及び身体強健であって、貴町奨学生として適当と認められますので、学力の状況等を添えて推薦いたします。

年　　月　　日

学校長　　印

市貝町教育委員会　　様

様式第4号(第5条関係)

誓　　約　　書

市貝町奨学金貸与条例及び次の事項を遵守します。

1　市貝町奨学金貸与条例第10条に該当することになったときは、必ず月賦、半年賦又は年賦により返還すること。
2　市貝町奨学金貸与条例及び市貝町奨学金貸与規則に違反したときは、返還期限にかかわらず、既に貸与を受けた奨学金の一括返済の請求を受けても異議ないこと。

上記のとおり、連帯保証人及び保証人と連署して誓約します。

年　　月　　日

本　　人　　印

連帯保証人　　印

保　証　人　　印

様式第6号(第7条関係)

奨　学　金　借　用　証　書

借用金額　　円

市貝町奨学生として借用の上記奨学金は、規定に従い私ども連帯で滞りなく返還することを誓約いたします。

年　　月　　日

市貝町教育委員会　　様

本　　人　住　所

氏　名　　印

連帯保証人　住　所

氏　名　　印

保　証　人　住　所

氏　名　　印

奨学金振込先報告書

金融機関名	
支店名	
種別	
口座番号	
口座名義	

※ 奨学生本人名義の口座（ゆうちょ銀行可）への振込になります。
※ 本人以外の口座への振込はできません。

上記のとおり報告いたします。

年　　月　　日

住所

氏名　　印

市貝町教育委員会 様

記入例

様式第1号（第4条関係）

奨学金貸与願書

ふりがな 氏名	いちかい たろう 市貝 太郎 (男) 女	生年月日	平成10年 8月31日生
住所	〒321-3493 栃木県芳賀郡市貝町大字市塙1280番地 電話番号 (自宅) 携帯) 0285-68-1119		
貸与希望金額	月額 20,000 円	貸与希望期間	平成30年 4月 1日より 平成34年 3月 31日まで
在学又は入学見込の学校名	学校名 ○○大学 ○○学部 ○○学科 所在地 ○○県○○市○○○	在学・(入学見込)	

連帯保証人	・氏名 市貝一郎 ・本籍 栃木県芳賀郡市貝町大字市塙1280番地 ・住所 栃木県芳賀郡市貝町大字市塙1280番地 ・電話番号 0285-○○-○○○○	・生年月日 ○年 ○月 ○日 ・続柄 父 ・職業 会社員 ・年間収入 ○○○ 万円
保証人	・氏名 市貝二郎 ・本籍 栃木県芳賀郡市貝町○○○ ・住所 栃木県○○○市○○○ ・電話番号 0285-68-○○○	・生年月日 ○年 ○月 ○日 ・続柄 伯父 ・職業 自営業 ・年間収入 ○○○ 万円

家族状況

	続柄	氏名	年齢	勤務先及び電話番号	職業	本人との同・別居
就学者を除く家族	父	市貝 一郎	48歳	株式会社○○○ 電話番号 0285-68-○○○	会社員	(同居) 別居
	母	市貝 花子	46歳	(有)○○商店 電話番号 0285-68-○○○	パート	(同居) 別居
	祖父	市貝 清一	72歳	電話番号	農業	(同居) 別居
	祖母	市貝 清子	71歳	電話番号	無職	(同居) 別居

	続柄	氏名	年齢	設置者別	学校名	学年	通学別
本人を除く就学者	姉	市貝 花江	20歳	(国) 公・私	○○大学○○学部	2年	自宅 (自宅外)
	弟	市貝 次郎	14歳	国 (公) 私	市貝中学校	2年	(自宅) 自宅外
			歳	国・公・私		年	自宅 自宅外

特別控除関係	種別	本人との続柄	程度	長期療養期間
	心身障害（ 1 人） 長期療養（ 1 人）	祖母	心臓 1級	平成26年10月から長期療養（病名：心臓病 ） 過去1年間にその療養のため実際に支払った医療費（保険等で補てんされた金額を除く。） 年間 40 万円

奨学金貸与状況					
他の奨学金との併願	(有)・無	奨学金名称	日本学生支援機構奨学金	貸与月額	30,000 円
	実施機関名	日本学生支援機構	併願状況	(1.) 出願中　2. 今後出願予定　3. その他	
以前に当町奨学生であった者	・学校名 栃木県立○○高等学校 ・貸与期間 27年 4月より 30年 3月まで ・貸与月額 10,000 円　・貸与総額 360,000 円				

奨学金出願理由	〈　奨学金出願の理由を具体的に記入　〉
出願者の履歴（※小学校入学以来の履歴を記載）	平成18年4月　市貝町立市貝小学校　入学 平成24年3月　市貝町立市貝小学校　卒業 平成24年4月　市貝町立市貝中学校　入学 平成27年3月　市貝町立市貝中学校　卒業 平成27年4月　栃木県立○○高等学校　入学 平成30年3月　栃木県立○○高等学校　卒業見込

市貝町奨学金貸与条例により奨学生としてご採用のうえ、奨学金の貸与を受けたく、関係書類を添え連帯保証人及び保証人連署をもってお願いいたします。

平成　30　年　○月　○日

出願者　市貝　太郎　㊞
連帯保証人　市貝　一郎　㊞
保証人　市貝　二郎　㊞

市貝町教育委員会　様

記入例

様式第2号（第4条関係）

奨　学　生　推　薦　書

今年度と昨年度の学年

出願者氏名　市　貝　太　郎

1　学力の状況

学年＼科目	国語	数学Ⅱ	数学B	数学Ⅲ	数学C	英語	物理	化学	生物	地理	日本史	世界史	学力平均
第 2 学年	3	4	4			4	3	3	4	3	5	4	
第 3 学年	3			5	4	3	4	3	3	4	5	4	

学年＼科目	美術	音楽	体育	技術	生活								学力平均
第 2 学年	3	3	5	3	3								3.6
第 3 学年	3	3	5	4	3								3.7

科目の平均点（小数第2位以下切捨）

科目毎の成績（1年間の成績の平均。年度途中の場合は前学期までの成績で記入。）

※成績は数字の5段階評価に置き換えて記入してください。

2　授業料減免等の状況

高等学校就学支援金	有　・　無
奨学のための給付金（公立・私立）	有　・　無
その他、授業料減免又は就学支援を目的とした制度及び支援	有（名称：　○○○支援金　）　・　無

上記の者は、学術優秀、品行方正及び身体強健であって、貴町奨学生として適当と認められますので、学力の状況等を添えて推薦いたします。

平成 30 年 ○ 月 ○ 日

栃木県立○○高等 学校長　　栃木　太郎　○○高等学校長印

市貝町教育委員会　　様

記入例

様式第4号（第5条関係）

誓　約　書

市貝町奨学金貸与条例及び次の事項を遵守します。

1　市貝町奨学金貸与条例第10条に該当することになったときは、必ず月賦、半年賦又は年賦により返還すること。
2　市貝町奨学金貸与条例及び市貝町奨学金貸与規則に違反したときは、返還期限にかかわらず、既に貸与を受けた奨学金の一括返済の請求を受けても異議ないこと。

上記のとおり、連帯保証人及び保証人と連署して誓約します。

平成 30 年 ○ 月 ○ 日

本　　人　市貝 太郎 ㊞
連帯保証人　市貝 一郎 ㊞
保 証 人　市貝 二郎 ㊞

記　入　例

様式第6号（第7条関係）

奨　学　金　借　用　証　書

借用金額　　円

「総貸与額」を記入してください。

（例）高等学校での貸与の場合
※月額10,000円貸与、貸与（予定）年数3年
→ 10,000円×36カ月＝360,000円
（例）短大・専門学校（2年）での貸与の場合
※月額20,000円貸与、貸与（予定）年数2年
→ 20,000円×24カ月＝480,000円
（例）大学での貸与の場合
※月額20,000円貸与、貸与（予定）年数4年
→ 20,000円×48カ月＝960,000円

市貝町奨学生として借用の上記奨学金は、規

とを誓約いたします。

平成　30　年　○　月　○　日

市貝町教育委員会　　様

本　　人　住　所　栃木県芳賀郡市貝町大字市塙1280番地
氏　名　　市　貝　太　郎　㊞

連帯保証人　住　所　栃木県芳賀郡市貝町大字市塙1280番地
氏　名　　市　貝　一　郎　㊞

保　証　人　住　所　栃木県○○○市○○○
氏　名　　市　貝　二　郎　㊞